

中東情勢に関する関係閣僚会議（第1回）議事要旨

（開催要領）

1. 開催日時：令和8年3月24日（火）09:20~09:35
2. 場 所：首相官邸4階大会議室
3. 出席者：
 - ・高市 早苗 内閣総理大臣
 - ・木原 稔 内閣官房長官
 - ・茂木 敏充 外務大臣
 - ・鈴木 憲和 農林水産大臣
 - ・赤澤 亮正 経済産業大臣
 - ・金子 恭之 国土交通大臣
 - ・小泉 進次郎 防衛大臣
 - ・尾崎 正直 内閣官房副長官（衆）
 - ・佐藤 啓 内閣官房副長官（参）
 - ・露木 康浩 内閣官房副長官（事務）
 - ・阪田 渉 内閣官房副長官補（内政）
 - ・河邊 賢裕 内閣官房副長官補（外政）
 - ・市川 恵一 国家安全保障局長

（議事次第）

1. 開会
2. 議事 中東情勢をめぐる状況等について
3. 閉会

（配布資料）

- 資料1 中東情勢に関する関係閣僚会議の開催について
- 資料2 外務省提出資料
- 資料3 国土交通省提出資料
- 資料4 経済産業省提出資料

(議事内容)

○木原官房長官

ただ今より、「中東情勢に関する関係閣僚会議」を開催致します。本会議の司会を務める、官房長官の木原です。現下のイラン情勢を受け、関係行政機関の緊密な連携の下、中東情勢に関する情報の収集・共有・提供を適切に行うとともに、中東地域の航行の安全、エネルギーの安定供給等の確保を図る必要があります。このような観点から、「中東情勢に関する関係閣僚会議」を開催することといたしました。本日は、関係閣僚の皆様から、各省庁における取組状況について、ご報告いただきたいと考えております。皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは議事に入ります。構成員の皆様から、順に各省庁の取組状況について、ご発言をお願いいたします。まず、茂木外務大臣より、御発言をお願いします。

○茂木外務大臣

外務省では、イランへの攻撃が始まった2月28日直後から、邦人保護に全力で取り組むとともに、ホルムズ海峡の航行の安全、エネルギーの安定供給はじめ、事態の早期沈静化に向けた外交努力を積み重ねてきています。

邦人保護については、これまでイランを含む中東地域に滞在している邦人に関し、被害は確認されていません。また、現地公館の支援の下、イラン及びイスラエルから隣国への陸路での退避に加え、湾岸諸国から日本へ合計6便の政府チャーター機を運航し、計1,160名の邦人等の出国を支援しました。引き続き、現地の状況や邦人のニーズを踏まえつつ、邦人保護に万全を期してまいります。

外交努力については、高市総理のG7首脳オンライン会合参加や訪米での日米首脳会談に加え、私自身も、当事国である米国、イスラエル、イランのほか、湾岸諸国の外相等と緊密に意思疎通を行ってまいります。

また、エネルギー安全保障の観点から我が国の国益にとっても極めて重要なホルムズ海峡の航行の安全確保に向け、関係国、関係機関との連携強化を行ってまいります。一昨日(22日)には、G7外相声明も発出し、航行の安全の重要性を再確認したところです。

今後も関係省庁と緊密に連携しながら、事態の早期沈静化に向け、必要なあらゆる外交努力を継続してまいります。

○木原官房長官

次に、小泉防衛大臣より、ご発言をお願いいたします。

○小泉防衛大臣

防衛省としても関係省庁と緊密に連携し、情報収集に努め、また邦人退避に万全を期すべく自衛隊機を待機していたところです。ホルムズ海峡における航行の安全の確保を含む、中東地域の平和と安定の維持は、エネルギーの安定供給の観点から重要と認識しており、防衛大臣として、法律の範囲内で今後も出来

ることをしっかり検討してまいります。

○木原官房長官

ありがとうございます。次に、金子国土交通大臣お願いいたします。

○金子国土交通大臣

国土交通省としては、ペルシャ湾内の日本関係船舶45隻に変化はなく、これら船舶に対する情報提供を充実させる等の取組を実施しております。

また、先日の国際海事機関（IMO）の臨時理事会において、我が国が主導した提案を元に、国際海事機関（IMO）事務局長に対し、関係当局と協力して、船舶の安全な避難を可能とする枠組み構築のための措置を速やかに講じることを要請する旨が決定されました。

引き続き、船舶・船員の安全確保に万全を期して参ります。

○木原官房長官

ありがとうございます。次に、赤澤経済産業大臣からご発言をお願いいたします。

○赤澤経済産業大臣

経済産業省は、3月16日から民間備蓄15日分を放出していることに加え、国家備蓄も今週26日から当面1ヶ月分の放出を開始します。また、3月中に産油国共同備蓄約5日分の放出が始まる予定です。加えて、燃料油価格の激変緩和措置を19日出荷分から開始しています。

今回の日米首脳会談において、高市総理から、日本やアジアにおける原油調達を念頭に、米国産エネルギーの生産拡大に日米で共に取り組んでいくこと、米国から調達する原油を備蓄する共同事業を実現したい旨をお伝えいただき、米側と意思疎通を続けていくことになりました。この他にも、民間事業者と連携しながらあらゆる手を尽くし、代替調達先の確保を進めています。

こうした取組を通じて日本全体としての需要を賄える量の原油を確保するとしても、足元では、国内流通面での偏りが一部で生じています。石油元売・販売業界に対して、自社の系列かどうかを問わず、必要な燃料が行き渡るよう要請しました。また、3月14日から、事業者や消費者の皆様からの情報提供を受け付けています。燃料油に加え、例えばナフサの需給逼迫が生じれば、幅広いサプライチェーンに影響が及ぶことから、中間財・最終製品を問わず状況を注視し、機動的に対応します。

燃料油・石油製品の供給のうち、特に、医療・物流・公共インフラ等、優先度の高い用途への供給が滞らないよう、関係省庁と連携して情報集約を行い、関係業界と連携しながら、きめ細かく対応していきます。

今後、特に、アジア各国発の需給逼迫等が日本経済に及ぼす影響についても、注視が必要です。事態の長期化も見据えつつ、あらゆる可能性を排除せず、機動的に対応していきます。

○木原官房長官

次に、鈴木農林水産大臣より、ご発言をお願いいたします。

○鈴木農林水産大臣

中東は肥料原料のうち「尿素」の主産地ですが、我が国は、マレーシア、ベトナム等からの輸入が大半を占め、中東からの輸入は全体の5%程度です。また、本年春に必要な肥料は、既にほとんどの農業者が調達済みと考えられ、影響は小さいです。農林水産省としては、秋作業以降に使用する肥料原料の調達と価格の動向を注視し、農産物の供給に影響がないよう、しっかり対応してまいります。

○木原官房長官

それでは、最後に、高市総理大臣から御発言をいただきます。その前にプレスが入室しますので少々お待ちください。それでは、高市総理、よろしくお願い致します。

○高市総理大臣

ホルムズ海峡における航行の安全の確保を含む中東地域の平和と安定の維持は、エネルギーの安定供給の観点も含め、日本を含む国際社会にとって極めて重要です。事態の早期沈静化に向けて、引き続き様々な機会を捉え、関係国と様々なレベルで緊密に意思疎通し、必要なあらゆる外交努力を行っていく考えです。

先週のトランプ大統領との首脳会談でも、緊迫した状況が続くイラン情勢について、事態を一刻も早く沈静化させ、ホルムズ海峡における航行の安全、エネルギーの安定供給を確保することの重要性を確認しました。

特に、原油の安定供給については、米国産原油の生産拡大に日米で共に取り組んでいくことを確認するとともに、米国から調達する原油を備蓄する共同事業を実現したい旨、をお伝えしました。

邦人保護の観点からは、これまでに、イラン及びイスラエルから隣国への陸路退避に加え、湾岸諸国から日本へ合計6便の政府チャーター機を運航し、計1,160名の希望者全員の邦人等の出国を支援しました。

なお、イラン当局に拘束された邦人のうち1名は、在イラン日本国大使館の支援の下、今月20日にイランを出国し、22日に帰国済みです。

関係大臣におかれても、事態の早期沈静化を図り、エネルギー安全保障を含む中東地域の平和と安定に向けて取り組むべく、引き続き緊張感とスピード感をもって対応にあたっていただくようお願いします。

また、中東情勢の国内経済への影響については、万が一にもガソリンなどの石油製品の供給に支障が生じないように、石油製品の「日本全体として必要となる量」を確保するため、3月16日より民間備蓄の放出を開始し、今週26日から国家備蓄の放出を開始します。さらに、産油国共同備蓄についても、3月中には放出が始まる予定です。

併せて、3月19日からガソリン、軽油、重油等の石油製品の価格を抑制する補助を開始しました。

こうした措置を通じて、経済活動への影響を最小限に抑えるべく、全力で対応してまいります。

なお、電気・ガスの料金については、2～4ヶ月前の燃料輸入価格を参照して決定されることが一般的

であり、料金が直ちに上昇することはないと認識しています。

加えて、ナフサをはじめとするエネルギー源ではない石油関連製品についても、経済産業大臣を中心に、国民の皆様命と暮らしを守るという観点から、工業のみならず農業、医療等に関係するものも含むサプライチェーン全体について、「世界の供給状況」「国内在庫の量」などを踏まえた対応方針を取りまとめ、本閣僚会議への報告をお願いします。

○木原官房長官

ありがとうございました。ここでプレスは退室をお願いいたします。

○木原官房長官

以上をもちまして本日の会議は閉会といたします。ありがとうございました。